2026　U１８日韓交流戦

大会名	2026　U１８日韓交流戦	日　付	2026/11/ 6
場　　所	牙山市ホッケー場	天　　候	晴れ
試　合	第3戦	通算結果	2勝1敗

RESULT

Country		1Q	2Q	3Q	4Q		Country
日　本 JAPAN	1	0 - 0	0 - 0	1 - 0	0 - 0	0	韓国 KOREA

Start	No.	Name	備考
✓	41	野田　美緒	GK
DNP	27	川田　理華	GK
✓	44	野田 莉緒	
✓	7	秋場　優南	
✓	5	吉田　来夢	
✓	10	橋本　奈々	Cap.
✓	8	ボクホベン　莉咲ジェーン	
✓	9	吉原　仁菜	
✓	17	小池　咲代	
7	19	伊藤　詩	
✓	24	長屋　果歩	
7	23	安部　綾花	
✓	14	桑本　真衣	
7	43	八十島　栄奈	
✓	26	関口　結希	
7	25	山田　心結	
ヘッドコーチ		岩館　直也	
UMPIRE		LEE MIOK	

Start	No.	Name	備考
✓	7	KWON HAYEON	Cap.
✓	27	KIM MINCHAE	
✓	10	KIM JIWON	
✓	12	AN SOHYUN	
✓	9	LIM HYOSUN	
5	13	HEO ARYEON	
5	5	LEE SONGHEE	
✓	11	RYU GYEONGMIN	
✓	2	PARK DAMI	
5	22	LEE JIAE	
✓	17	LEE HYEONJU	
✓	6	JEON GAHEE	
5	8	JUNG HYEONJI	
✓	15	CHOI JEONGHA	
8	14	TAK GAEUN	
✓	1	HONG SEO YEON	GK
ヘッドコーチ		JEONG YONGGYUN	
UMPIRE		KIM SEONGHYEON	

Country	Min	Name	Action	Score
日本	39	ボクホベン　莉咲ジェーン	PC	1 – 0

Country	Min	Name	Action	Score

第１Q 日本のセンターパスにより、日韓交流戦最終戦が開始された。序盤から両チームともに積極的な姿勢を見せ、球際で激しい攻防が繰り広げられる。日本は＃10橋本が持ち前のドリブル突破で韓国ディフェンスをかわし、サークル内へ侵入。先制点のチャンスを作り出すも、韓国の粘り強い守備に阻まれ、得点できない。その後も両チームが攻守にわたり一歩も譲らない展開が続き、互いに決定的なチャンスを作り出せないまま、０－０で第１Qを終了した。

第２Q 開始早々17分、日本＃８ボクホベンがグリーンカードを受け、一時的に数的不利な状況となる。日本は＃14桑本が韓国のパスを鋭くカットし、＃17小池へとつなぐなど、攻撃のチャンスを作るが、韓国ディフェンスの組織的で堅い守備に、思うようにサークル内へ侵入することができない。25分、韓国がPCを獲得。日本の反則により再びPCとなり、韓国に先制のチャンスを与える。GK日本＃41野田が冷静な判断と好セーブを見せ、韓国のシュートを阻止する。両チームともに得点を奪うことができず、０－０のまま前半戦を終了した。

第３Q 韓国のセンターパスにより、後半戦が開始された。36分、日本がPCを獲得。先制点を奪う絶好のチャンスを迎えるが、韓国GK＃１HONG SEO YEONの好セーブに阻まれ、惜しくも得点には至らない。積極的に攻撃を仕掛ける日本は、39分に再びPCを獲得する。ここで日本＃８ボクホベンが放った鋭いヒットシュートがゴール隅に見事に決まり、日本が先制点を挙げ、１－０とリードする。43分には韓国がPCを獲得し、同点を狙うが、日本は守備陣が連携して粘り強く対応し、得点を許さない。その後、韓国＃17 LEE HYEONJUがグリーンカードを受け、日本が数的有利な状況となる。追加点を狙い積極的に攻撃を仕掛ける日本だったが、決定的なチャンスを作ることはできず、１－０と日本がリードしたまま第３Qを終了した。

第４Q 日本は１点のリードを守りながら、追加点を狙う展開となる。守備では＃５吉田が何度もインターセプトをし、素早く攻撃へとつなげ、チームに良い流れをもたらした。52分、韓国がPCを獲得し、チャンスを迎える。しかし、日本は選手全員が連携し、身体を張った粘り強い守備でゴールを守る。その後、日本はサイドを効果的に使ったパスワークで韓国の守備を崩し、追加点を狙ったが、そのまま試合終了。１－０で日韓交流戦最終戦を勝利で収めた。

日本	3	PC数	6	韓国
	10	シュート数	4	

校閲：長尾　美和

文責：河内佑有子